



「わが村は美しくー北海道」運動
第10回コンクール応募団体

(株)鷹栖町農業振興公社 【鷹栖町】

トマトリキュール「リコピナー
ジュ」により、町の活性化を図
る活動

はじめは？

水田農業が主体だった鷹栖町において、町民の冬場の野菜不足を改善し健康づくりを目指すため、自家用トマトジュースを作ったのが始まり。S58年知事が提唱した一村一品運動のニューフロンティアフェスティバルが開催されたのを機会に「オオカミの桃」を出品したところ、ランク2位に入る高い評価を得ました。その後、主に札幌方面へ販売しましたが評判が良く販売要望が相次いだため、1986年に(株)鷹栖町農業振興公社を設立し本格的な営業販売を開始しました。

おもな活動

トマトジュース「オオカミの桃」が誕生してから間もなくして「鷹栖の味噌」が誕生し、現在も町内の店舗を中心に販売されています。その後、オオカミの桃に関連した新たな特産品として、トマトジャム・羊かんなども販売されましたが、定着することなく、製造中止になり今日に至っていました。

2018年7月に旭川工業高等専門学校と鷹栖町が包括協定を締結し、地域課題解決に向けて、学生・先生方は試験研究等を行い、町はそれをサポートしていくという取り組みを進めていました。

その中で「オオカミの桃を活用した新たな特産品開発」をテーマとして、高専、公社、町が連携し、約2年の歳月をかけトマトリキュール「リコピナージュ」を開発し、2021年4月に販売を開始しました。

現在、町内店舗での販売、町ふるさと納税返礼品が中心ですが、今後は、道内・道外で広く販売することを目指しています。



リコピナージュ
パンフレット



「オオカミの桃deお酒LycopeneAGE (リコピナージュ)」

ここが自慢

【オオカミの桃から出た新製品(リキュール)で町おこし】

トマトリキュール「リコピナージュ」を開発・販売して終わりではなく、ここから新たな展開への第一歩です。今後も、旭川高専が中心となり産官学連携の元に、新たな分野の特産品(菓子等)の開発にチャレンジしていくところです。

本町の基幹産業は水田主体の農業であり、オオカミの桃の販売以降は、トマトジュース用の原料トマトの生産は、水稲との複合経営の筆頭作物でした。現在、農業者戸数減少、1戸当りの経営面積の増加等から、水田単作農業に営農類型を変更する傾向が増え始め、さらには、原料トマト生産者の高齢化も相まって、原料用トマト生産者数・面積が年々減少している状況です。

このような状況だからこそ、オオカミの桃を核とした町を代表する新たな特産品開発を、町内外たくさんの方々から力を借りながら進めていくことで、原料用トマトの増産につながり、生産者の生産意欲向上・所得向上に展開していくことが、町の活性化につながることに大きな可能性と期待を感じています。

連絡先

代表者名：谷 寿男さん／設立：1986年／会員：9名

住所：北海道上川郡鷹栖町11線5号

電話番号：0166-87-2938 (担当者 小滝統括部長)

F A X : 0166-87-2943

E-mail : —

U R L : —